

## 7. 終わりに

教育を専門とするスタッフによる体系だった取り組みには脱帽するしかないというのが参加しての正直な感想である。1980年代後半からの米国における科学教育改革の流れが底流にあって、予算が付きやすいという事情があると思われるが、専任スタッフ・プロジェクトの規模・運営などすべてがうらやましい限りであった。これらの活動の成果と思われるが、国立研究評議会の「国家科学教育基準」にはアメリカ気象学会などの意向が反映され、物理学、生命科学と対等に地球・宇宙科学が取り上げられるようになった。

アメリカ気象学会の中で教育は市民権を得つつあるようだ。年会でも教育に関するシンポジウムが毎年開

催されている(1999年で8回目)。初中等教育や非専門家向け高等教育、社会教育で大気科学に関する教育をどう行っていくべきかについての議論が本学会においても深まることを期待したい。

## 謝 辞

アメリカ気象学会 I. Geer 博士(教育プログラム・ディレクター)と K. A. Murphy (AERAs の 1 人) には本プログラム参加でご尽力頂き、深謝致します。また、アメリカまでの旅費助成が本学会も含めて中々得られないなか、ワークショップ参加の意義を真にご理解頂き、ご援助を頂いた伊藤組100年記念基金に厚くお礼申し上げます。

## 日本気象学会および関連学会行事予定

行事名	開催年月日	主催団体等	場所	備考
第2回宇宙先端技術ワークショップ	1999年4月15日 ～16日	宇宙開発事業団	宇宙開発事業団 筑波宇宙センター 宇宙実験棟大会議室	「天気」46巻1月号
日本気象学会1999年度春季大会	1999年4月26日 ～28日	日本気象学会	気象庁およびKKR ホテル東京	「天気」45巻12月号
第36回理工学における同位元素研究発表会	1999年7月5日 ～7日	日本アイソトープ協会	国立教育会館 (東京都千代田区霞が関3-2-3)	「天気」46巻1月号
第27回可視化情報シンポジウム	1999年7月7日 ～9日	可視化情報学会 (協賛)日本気象学会 他	工学院大学新宿校舎 (東京都新宿区西新宿1-24-2)	
IUGG99総会	1999年7月18日 ～30日	IUGG	Birmingham(英)	<a href="http://www.bham.ac.uk/IUGG99/">http://www.bham.ac.uk/IUGG99/</a>
第11回国際女性技術者・科学者会議 “Science and Technology for Global Ecology”	1999年7月24日 ～27日	日本女性科学者の会・日本女性技術者フォーラム・日本学術会議 (後援)日本気象学会 他	幕張メッセ・国際会議場	「天気」45巻6月号
第31回乱流シンポジウム 第10回計算流体シンポジウム 第4回環境流体シンポジウム	1999年7月29日 ～31日	日本流体力学会 (協賛)日本気象学会 他	工学院大学新宿校舎 (東京都新宿区西新宿1-24-2)	
水文・水資源学会1999年度総会・研究発表会	1999年8月10日 ～12日	水文・水資源学会	名古屋大学豊田講堂 およびシンポジオン (愛知県名古屋市千種区不老町)	(問い合わせ先) 名古屋大学大気水圏科学研究 所 水循環部門陸域表層 変動 福嶋義宏 Tel: 052-789-3474 e-mail: yoshi@ihas.nagoya-u.ac.jp
日本気象学会1999年度秋季大会	1999年11月24日 ～26日	日本気象学会	アクロス福岡 (福岡県福岡市)	